

2011 年度第 9 回執行理事会議事録

期 日：2012 年 3 月 17 日（土） 13:00～19:00

場 所：地質学会事務局

出席者：宮下会長 渡部副会長 藤本常務理事 斎藤副常務理事 石渡 井龍 小嶋 坂口
内藤 中井 西 藤林 星 向山 各理事, (事務局) 橋辺

欠席者（委任状提出あり）：久田副会長 高木 平田(会長) 山口 各理事

*定足数（12, 委任状含む）に対し, 出席者 13 名, 委任状 5 名, 合計 18 名の出席.

*前回議事録の承認

I 審議事項

1. 大阪大会関係について

- ・見学旅行の実施方法：従来の実施方法が旅行業法に抵触する可能性があるため, 弁護士や旅行業者の意見も聞きながら検討を進めてきた. 法的解釈にはグレーな部分があることから, 従来の方法で実施しても問題が生じることはないとの執行理事会は解釈し, 大阪では従来通りの方法で実施することを確認した. 仙台大会以降の実施方法は今後検討する.
- ・見学旅行名称：「旅行」という名称から単なる物見遊山的な観光旅行と混同され, 大学・会社で出張等の手続きの際に誤解されることがある. 行事委員会では, 見学旅行という従来通りの名称継続も含めていくつかの変更案が出された. 執行理事会で検討した結果, 大阪大会から名称を「日本地質学会巡検」とし(案内書は巡検案内書), 関連規則(運営規則, 編集規則等) 変更も含め理事会に提案することとした.
- ・大阪大会の参加登録費等：水戸大会では鉱物科学会に合わせて非会員院生の参加登録費を値下げしたが, 大阪大会でも元には戻さず, 会員・非会員全ての参加登録費について水戸大会の設定を踏襲することにした.
- ・アウトリーチ関係シンポジウム(本部企画)：ねらいや内容が市民講演会(講演者は飯尾能久氏, 三田村宗樹氏, 金田義行氏の予定) および上町断層関係シンポジウム(近畿支部企画, 代表世話人は竹村恵二氏) と重複しないよう, 支部及び LOC と調整して講演者等を決める.
- ・年会でのポスター賞の授与については, 運営規則に定めた賞の授与手続きと現状とが一致していないことが指摘された. 検討のうえ, 現状に沿った表彰を行うことが確認され, 運営規則に, 当該表彰に関しての但し書きをつけることとした.

2. 年会回り持ち順変更に関する申し合わせ修正案

前回の理事会での検討結果を受け, 4 月理事会に再提案する内容を検討した. 文言の小修正をして最終案とした.

3. 広報関係規則類の最終案確認

ジオルジュ編集規則→ジオルジュ編集細則

規程が細かいので, もう少し大きくりの規則とするよう修文の上, 承認.

ネット地学部“ちーとも”運営規則・利用規則 → 細則として承認する

4. 地質調査研修事業の再検討

研修事業実施内容, 今後の進め方について検討. 2012 年度事業計画案に盛り込むこととす

る。

5. 2012年度の事業計画基本方針、最終案

名事業計画として、実際に実行することを盛り込む。いくつか追加、削除などの修正を加えて、理事会に最終の提案をする。

6. 2012年度予算案

予算案については、収支がマイナスの予算案は不適切。引当金等から手当てをして、収支バランスのとれた予算案にするよう、会計に検討要請をした。7. 小藤文次郎賞に関わる運営規則と各賞選考規則の矛盾について

受賞の対象について、現行の運営規則では「会員」を、各賞選考規則では「論文」が対象となっている。この賞の場合は、論文を発表した会員を顕彰するのが適切として、運営規則に倣って各賞選考規則の文言を修正することとした。

8. W-B社からのIsland Arcの2013年以降 冊子体の廃止提案について

提案の趣旨は、時流に鑑みやむを得ないこととして承諾する、冊子体を購読している会員にはこのことを周知し、2013年度以降の購読費の請求はしない。

9. 定款の変更

1) 前回の理事会では定款33条2項末尾の変更として、現行「総会はこれを決議する」の部分(「理事会は理事会規則により会長1名、副会長2名、常務理事・・・を選任し、「総会に報告する」)としたが、やはり総会を開くことの必要性は現行と同じであることが判明した。したがって、「代議員に報告する」と修正し、再提案することとした。

2) 非営利型法人の重要条件として、定款上に、剰余金の分配をしないことを付け加えることとした。具体的には第54条に、以下の2項1号～3号を追加することとした。これによる理事会規則の該当部分も文言の修正をすることとした。

第54条 この学会の財産の管理・運用は・・・財産管理運用規則によるものとする。

2. 以下の各号を財産の管理・運用上の禁止事項として定める。

(1) この学会は、剰余金を一切分配することができない。

(2) この学会は、会員、役員もしくは使用人、基金の拠出者ならびにこれらの親族に対し、特別の利益を与えることはできない。

(3) この学会は、株式会社等営利事業を営む者または、特定の個人もしくは団体の利益をはかる活動を行うものに対し、寄付その他の特別な利益を与えることができない。ただし、公益財団法人または公益社団法人が行う公益目的事業のために、寄付その他の特別な利益を与える場合を除く。

10. 理事会審議事項について

1) 規則類の修正がいくつかあるので、関連規則に漏れがないよう、各担当部分について確認する。審議事項にすべきもの、審議の順序等について検討した。

11. 総会議案

・議案については、理事会において決定。

・フォトコン表彰式との時間割

13:30～で表彰式、講評を行う

14:30～総会、総会終了後新理事会を行う。

12. その他

1) 光記念館よりの後援依頼についての検討

日程その他を確認した上で、諾否を決定することとした。その後確認、検討した結果、企画展「飛騨地方の活断層と地震」(2/22-12/11)の後援を承諾した。

2) 韓国地質学会会長兪剛民氏の招待の件

高木理事経由で、兪会長の出席意思が確認された。招待を正式に承認する。

II 報告事項

(1) 運営財政部会：総務委員会

1. 東レ各賞の授賞式 3/15 , 平野直人会員受賞(東北大) → 石渡理事出席
2. 選挙管理委員会の要請に応じて、選挙立会人の代理人を1名選出した。
田中申明会員(東京学芸大学 院生)
3. 選挙管理委員会報告
・3/14 理事選挙の開票終了、中部支部理事の決定
4. 国立国会図書館より：インターネット資料の収集等に係わる許諾について→承諾する
5. 地理学関連学会連合の総会開催 3/27(火) →地質学会はオブザーバー、都合がつけば藤本常務理事が出席する。
6. 第5回ジオパーク国際ユネスコ会議式典への参加について：5/12 開会式、5/15 閉会式
長崎県島原復興アリーナ → 高木執行理事にお願いする。

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

1. 第9回学術振興会賞受賞候補者の推薦について、受付 4/18-20, 学会メーグ 3/31→News, geo-flash, HP に掲載
2. TECHNO-OCEAN2012 協賛依頼, 2012/11/18-20, 神戸国際会議場 →例年どおり承諾
3. 共催依頼「東海大学自然史博物館で第2回フォトコンテスト入賞作品の展示」→承諾

<会員>

1. 今月の入会者(2名)
正会員院割(2名) 楠 稚枝 宇都宮正志
2. 1月末日会員数
賛助：26 名誉：71 正会員：4052(正会員：3854, 院割正会員：185, 学部割正会員：13)
合計 4149(昨年比 -87)
3. 今年度末にての退会者 100名
4. 今月の逝去者 (正1名) 打矢貞子 (2012年2月20日)

<会計>

1. 3/2に会系担当会議開催：2011年度決算予想, 2012年度会計予算案の検討を行った
2. 鉱物科学会との合同大会(水戸)の会計について。相手方に案を出して交渉中。
3. 商標登録の費用について
ジオルジュとして商標登録をする。

(2) 広報部会：広報委員会(坂口, 内藤)

- ・震災後1年プレスリリースを行った。
- ・「東日本大震災にかかる地質学の役割と対応について」。掲載令はない
- ・ジオルジュ創刊号の進捗状況について。
創刊号 16p, 1万部, 経費 70万/号(70円/部), 23万+5万(室戸からの補助)。会員には配布予

定. 会員外販売は 250 円/部(内税)を基本に広報委員会考える. 団体購入 2 割引を検討する(年 2 回).

- ・ ネット地学部 “ちーとも” の開始について
- ・ 第 3 回フォトコン審査結果について
最優秀賞 1 件, 優秀賞 3 件, 入賞 12 件を選考した.

(3) 学術研究部会：行事委員会（星）

1) 2012 年大阪大会

- ・ トピックセッションに 11 件の応募があった（締切 3 月 12 日）. 現在採否を審議中.
- ・ 会期中に学会企画として国際ワークショップ「The Geology of Japan」を行う. 会員に向けた開催趣旨になるよう, 世話人に提案書を修正してもらう.
- ・ 見学旅行案内書原稿の投稿・査読状況. 1 コースのみ原稿未提出. それ以外のコースは原稿が投稿され現在査読中.
- ・ 今大会から演題登録システムは, ㈱アトラスに委託することとした(初期費用 10 万, 初年度経費 20 万円弱).

2) 2013 年仙台大会

- ・ 2/27 に第 1 回準備委員会が行われた. 開催期間は 9/13(金)~15(日), 巡検を 16(月祝)~17(火)に実施. 巡検は現在 13 コースの案が出ている(7 コースは GSA 対応可能)が, コース数については行事委員長と LOC が相談する. 鉱物科学会との共催はない見込み.
- ・ GSA Global Meeting は, 先方からの連絡が途絶えており, このままの状況が続けば開催困難.

(4) 学術研究部会：国際交流委員会（石渡）

(5) 学術研究部会：その他

- ・ 学術情報発信 緊急説明会（連合）2/17→ 藤本理事出席
- ・ 第 1 回科研費成果公開促進費対応臨時委員会(連合) 3/15→井龍理事出席

連合は文科省の「国際情報発信力強化の取り組み, Open Acces, e-journal」のヒアリングを経て, 上記の説明会ならびに委員会を開催し, 新ジャーナル発行の意思を固め, 既存の雑誌との棲み分けを明確にした. 現状, 科研費を受けて発行している欧文誌は, 連合の雑誌に合併する, 論文の対象によっては連合の横軸ジャーナルとして存続の可能性がある, 学会独自で出版継続する場合には科研費はあてにできなくなる, など. IRA は科研費補助事業でもなく, 発行元は出版社なので, 原稿争奪戦に勝って生き延びていく必要がある.

(6) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会（小嶋編集委員長）

今月の編集状況（3 月 15 日現在）.

- ・ 2012 年投稿論文 総数 19 編 [論説 16 (和文 14, 英文 2), ノート 2 (和文 2), 報告 1 (和文 1)] 口絵 1 (英文 1)
- ・ 査読中 58 編 受理済み 27 編 (うち通常号 14 特集号 13)

(7) 編集出版部会：アイランドアーク編集委員会（井龍編集委員長）

- ・ 編集状況の報告
やや, 数が少ない状況で国際誌標準の 25 編/年になるか不安がある

(8) 企画出版委員会（山口）

なし

(9) 社会貢献部会 (藤林)

1) 地質の日行事

- ・応用地質学会との合同行事「街中ジオ散歩 in Tokyo」(5月13日)を実施
- ・千葉県立中央博物館において(地質学会主催),第3回フォトコンテスト入賞作品の展示(4月21日~6月3日)
- ・東海大学自然史博物館(地質学会共催)で第2回フォトコンテスト入賞作品の展示(4月28日~5月13日)

(10) ジオパーク支援委員会 (高木)

- ・平成24年度申請予定地域:湯沢市,八峰町(いずれも秋田県),銚子,箱根,伊豆半島の5地域.
- ・世界ジオパーク申請予定:阿蘇ジオパーク
- ・平成25年以降の申請をめざす地域は7カ所,その他の検討地域は15カ所に上っている.
- ・地理学会等,学会間の連携も検討の必要がある.

(11) 地学オリンピック支援委員会 (久田)

なし

(12) 震災復興事業プラン検討WG (高木・向山・藤本・斎藤)

なし

(13) 連携事業委員会 (渡部)

- ・原子力安全基盤機構の受託事業は事業報告が完了し,受託経費の請求書を発行した.

(14) 支部長連絡会議 (渡部)

- ・支部長の交代

四国支部:2012年度より石田啓祐(徳島大)(旧:臼井 朗)

西日本支部:2012年度より小林哲夫(鹿児島大学)(旧:宮本隆実)

(15) 地質災害委員会 (斎藤)

(16) 専門部会

- ・構造地質部会緊急例会:3月17-18日 東北大学理学部

(17) 会長より

地質学雑誌査読結果異議申立書についての報告があった

以上